

SECTION 1

さあ、始めましょう、工具とワークスペース Getting Started...Tools and Workspace

カメラリペアに関して、私達は小さいものを念頭に置かなければなりません-全てが小さいのです。そのためには、より明るい照明、拡大鏡、小さな工具類、目元に近い胸の高さの机が必要です。下の図の時計メーカー用のワークベンチを見て下さい。細かい部品が落ちないように縁がついています。手から落ちる部品をキャッチする棚が胸元に付いています。小さなたくさんの引出しにも注目しておきましょう。扱う工具も部品もとにかく小さいのです！ 修理を始めるために綺麗な机を用意する必要はありません。簡単に木で箱を作ってその上にトレイ（皿）をつけて、今あるあなたの机の上に乗せて修理台として使ってもかまいません。これで胸の高さで修理ができます。照明には学生用か製図用の蛍光灯を使います。修理中は違うカメラの部品をミックスしないように注意しましょう。もし2、3日どうしてもカメラから離れるときは、カメラをプラスチックの皿に入れておくと部品を見失うことはないでしょう。小さなネジやバネはボール箱の折り目の下に滑り込むことがあります。部品は落ちるものと思いましょう。あなたの机の近くには他の箱を置いたり、散らかった状態にはしないように注意しましょう。部品が落ちて混ざってしまうからです。カーペットの

部屋では修理をしないこと、落とした部品は見事に消えてしまいます！ こんなとき小さな部品は磁石を使って見つけます。小さなハンディクリーナーは非磁化の部品を見つけるのに役立ちます。

修理を始めるために特別に高価な工具を注文する必要はありません。工具類はラジオシャック、Kマートや同様のデパート、スーパーマーケットで揃います。私は宝石用のスクリュードライバーの小型キットとピンセット1セットをKマートで4ドルで見つけました。その店には小さなルーペや懐中電灯のついた20倍のポケットスコープもありました。このポケットスコープは壊れた部品の検査には絶対必要なものです。

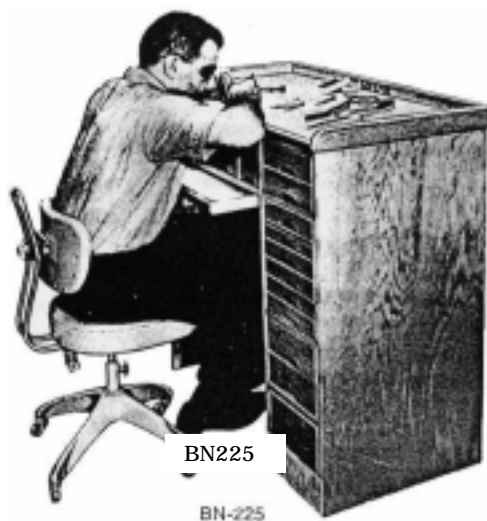


FIG.1 - Watchmaker's Lifetime Bench
時計修理用ライフタイムベンチ

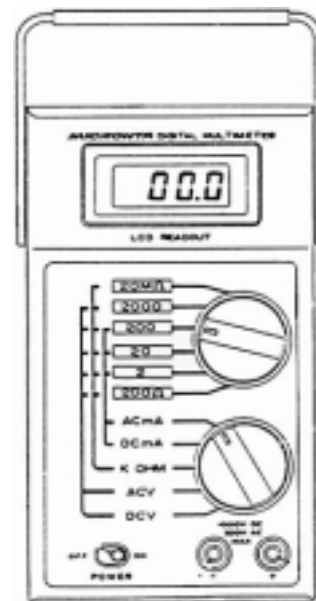


Fig.2 - LCD Digital Multimeter